



【経済産業部】

沖縄の地域資源を活かした 商品開発支援の取組について

【有限会社宮城菓子店】

同社は石垣島で大正11年（1922年）に創業した菓子メーカーで、創業以来地域資源を活用したお菓子作りをモットーにしています。紅芋、塩、黒糖などの食材だけでなく、伝統織物や伝統行事・文化、景観も重要な地域資源として捉え、同社オリジナルで豊富なラインナップを取り揃えております。



沖縄の塩を活用した商品開発中の様子

今年度は中小企業庁「国内・海外販路開拓強化支援事業」を活用し、ミンサー型のパイナップルケーキや沖縄の塩×黒糖を活かしたクッキーの商品開発などに積極的に取り組んでいきます。今後も、沖縄のお菓子を通して地域資源の魅力を発信することを念頭に製造・開発に努めていきます。

【大高商事株式会社】

同社は、沖縄の豊富で優れた地域資源を上手く活かした魅力ある商品づくりをモットーに、琉球もろみ酢×スポーツドリンクの商品開発に取り組んでいます。



琉球もろみ酢を活用した商品開発中の様子



商品開発中のパッケージ

今年度は中小企業庁「JAPANブランド育成支援事業」を活用し、琉球もろみ酢のほかに、シークワサー、黒糖、アセロラなど沖縄県産の原材料を活用した、飲みやすい味わいや香り、形状も含めてパッケージもスタイリッシュにする商品改良を進めているところです。「飲みやすい・持ち運びやすい・続けやすい」というコンセプトで、皆様に末永くご愛用いただける商品開発に取り組んでいます。

経済産業部中小企業課

☎098-866-1755

No.9



【経済産業部】

表面処理技術の 定着に向けて

1. 沖縄ものづくり技術週間

沖縄県工業技術センターは、「ものづくり技術週間（1月27日から1週間）」として、ものづくり企業間と学術研究機関等との産学官連携や交流を通し、新たなビジネス・イノベーション創出等、ものづくり振興を目的に、ものづくり技術展（各企業のパネル展示等）や各種セミナーを開催しました。

2. ものづくり×表面処理セミナー

沖縄総合事務局経済産業部では、地域中核企業ローカルイノベーション支援事業（委託先：有限責任監査法人トーマツ）により、表面処理技術による製品の高付加価値化に向けた取組を行っております。この度、機械及び食品企業を対象に「ものづくり×表面処理セミナー（1月31日）」をものづくり技術週間の二環として開催し約30名が出席しました。各登壇者は、表面処理技術（電

定着に向けて

気めつき、アルマイト、溶射法）の概要や、県内産業への新たな活用方法などについて講演しました。

参加者からは、ガスボンベに直接溶射した場合の安全性など、実務的な質問が飛び交い、各社の関心の高さが伺えました。

沖縄総合事務局経済産業部では、引き続き表面処理技術の活用促進に向けた取組を進めて参ります。



有限会社竹田鍍金工業
代表取締役 神谷篤氏

経済産業部 地域経済課

☎098-866-1730

No.10